

『運行管理者試験 重要問題厳選集 貨物編 2024-2025』

お詫びと訂正のご案内

『運行管理者試験 重要問題厳選集 貨物編 2024-2025』をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。  
 本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。  
 訂正してお詫び致します。

頁数等	内容		掲載日
第4章 労働基準法  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"><b>4-9</b></div> <b>労働時間等の改善基準</b> 【5】  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"><b>問5</b></div> 173ページ 問題文 1. 赤字下線部を削除	誤	1. この基準は、自動車運転者（労働基準法（以下「法」という。）第9条に規定する労働者であって、（A）の運転の業務（厚生労働省労働基準局長が定めるものを除く。）に主として従事する者をいう。以下同じ。）の労働時間等の改善のための基準を定めることにより、自動車運転者の労働時間等の（B）の <b>向上</b> を図ることを目的とする。	令和6年5月
	正	1. この基準は、自動車運転者（労働基準法（以下「法」という。）第9条に規定する労働者であって、（A）の運転の業務（厚生労働省労働基準局長が定めるものを除く。）に主として従事する者をいう。以下同じ。）の労働時間等の改善のための基準を定めることにより、自動車運転者の労働時間等の（B）を図ることを目的とする。	
第5章 実務上の知識及び能力  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"><b>5-2</b></div> <b>運行計画</b>  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"><b>問3</b></div> 200ページ ポイント解説 3. 赤字下線部のとおり 修正	誤	3. 連続運転時間とは、「1回がおおむね連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間」をいう。また、荷積み及び荷下ろしも中断時間となる。	
	正	3. 連続運転時間とは、「1回がおおむね連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間」をいう。また、荷積み及び荷下ろしは <b>運転</b> 時間となる。	
第5章 実務上の知識及び能力  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"><b>5-2</b></div> <b>運行計画</b>  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"><b>問4</b></div> 203ページ ポイント解説 3. 赤字下線部のとおり 修正	誤	3. 連続運転時間とは、「1回がおおむね連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間」をいう。また、荷積み及び荷下ろしも中断時間となる。	
	正	3. 連続運転時間とは、「1回がおおむね連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間」をいう。また、荷積み及び荷下ろしは <b>運転</b> 時間となる。	

第5章  
実務上の知識及び能力

5-7 走行時に働く力と諸現象

問1

227ページ

ポイント解説

3.

誤植のため、赤字下線部のとおりに修正

模擬試験 第1回

問29

258ページ

イラスト内の文字を赤字下線部のとおりに修正

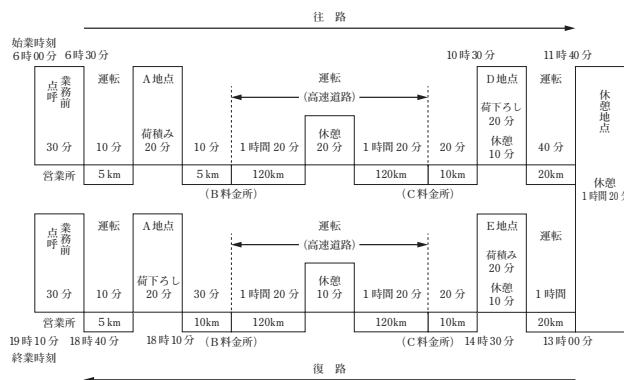
誤

3. (車線逸脱警報装置) は、走行車線を認識し、車線から逸脱した場合あるいは逸脱しそうな場合には、運転者が車線中央に戻す操作をするよう警報が作動する装置

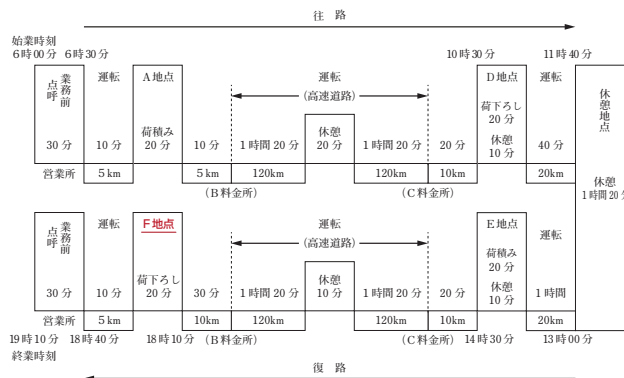
正

3. (ハイドロプレーニング現象) とは、路面が水でおおわれているときに高速で走行するとタイヤの排水作用が悪くなり、水上を滑走する状態になって操縦不能になることをいう。

誤



正



令和6年5月